

ともに生きる

02・03 年頭のごあいさつ、令和7年度幸田町社会福祉協議会会員入会報告

04 Go!Go!SCタイムズ 05 地域の居場所活動紹介 06 中部地域包括支援センターだより

07 社会福祉大会報告 08 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者紹介、ご寄付紹介

幸田町社会福祉協議会では、本年度より2つの新規事業に取り組んでいます

「地域の居場所」を支援しています

「地域の居場所」とは地域の人や仲間との関わりを持ちながらおしゃべりやゲーム、食事の提供などを通じて安心して過ごすことのできる場のことです。令和7年度より、高齢者サロンに加え子どもの居場所(子ども食堂含む)の支援を拡充しました。



子どもの居場所



高齢者の居場所

「全国手話検定試験」に合格した児童生徒へ受験料を助成しています

手話で繋がる仲間の輪



夏休み子ども手話体験教室

手話で深まる地域の力



福祉実践教室

夏休みの子ども手話体験教室の参加者からは、「どうやって勉強すればよいかわからなかったので、体験教室に参加できてよかったです。」「今回勉強した手話を使ってコミュニケーションをしてみたいですね。」などの感想をいただいています。

各種申請書は、社協窓口にて配布および社協ホームページにも掲載しています。

社協だより「ともに生きる」は回覧となっています。社協窓口をはじめ幸田町役場や町内の駅、町民会館などに配架していますので、ご自由にお持ちください。

また、社協ホームページからもご覧いただけます。

社協ホームページ▶





年頭のごあいさつ



幸田町社会福祉協議会

会長
天野
広子

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、「健康にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

「地域の居場所づくり事業」では、「地域の活性化」「住民主体の居場所づくりへの支援」「社協事業のPR活動の推進及び情報発信力の強化」を掲げ取り組んでいます。この重点事業の3点について、皆さまの「理解・」支援をいただき進めることができます。

「地域の居場所づくり事業」では、高齢者を対象に行っていた事業を、子どももや保護者にも広げ、「子ども食堂を含む」居場所づくり事業を推進しています。「これまで、各地区の「いきいきサロン」など22団体に支援をしていましたが、新たに11の団体に支援を行っています。

手話検定試験受験料助成では、幸田町の小中高校生を対象に手話検定試験を受け、合格された人に受験料の助成を始めました。幸田町では、小学校・中学校で福祉実践教室に取り組み、子どもたちの福祉に対する姿勢を高めていただいています。そこで手話を学び、興味を持った子どもたちが、興味を持ち続け、将来手話通訳やボランティアとして、幸田町の福祉の充実に向け、力になってくれることを期待しての試みです。

本年は、継続事業とともに、幸田町の皆さまの支援ニーズに対する包括的な支援体制の構築を推進するための重層的支援体制整備事業や成年後見制度の周知や利用促進、法人後見に、本格的に取り組んでまいります。

また、ホームページや広報誌とともに生きる」のやうなる充実を図り、より親しみやすく分かりやすい社会福祉協議会となるよう広報活動に努めてまいります。

ボランティア団体の皆さま、協議体の皆さまをはじめ、町民の皆さまの「理解」、「努力」をいただいて、幸田町社会福祉協議会の事業を進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



幸田町長

成瀬 敦



令和7年度
幸田町社会福祉協議会会員入会報告

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた新春をお健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町の福祉行政および社会福祉協議会の事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本町では、高齢化の進行に加え、核家族化や地域でのつながりの希薄化など、世代を問わず「孤立」を防ぐ取り組みが重要な課題となっています。社会福祉協議会におかれましては、地域包括支援センターを中心に、生活支援コーディネーターによる地域の支え合い体制の構築や、見守り配食事業の推進など、多様なニーズにきめ細やかに対応いただいているおり、そのご尽力に深く敬意を表します。

また、本町では、「子どもから高齢者まで誰もが安心して集い、つながることのできる「居場所づくり」」を進めています。「子ども食堂や高齢者の通いの場など、地域の皆さまの温かい」協力によって支えられているこれらの活動は、世代を超えた交流と支え合いの輪を広げる大切な基盤となっています。こうした地域の取り組みが、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる、共生のまちづくりにつながるものと確信しております。

令和8年においても、地域福祉計画・地域福祉活動計画の理念である「支え合いともに生きるまちづくり」の実現を目指し、本町と社会福祉協議会、地域の皆さまが一体となって、安心と笑顔に満ちた地域社会の形成に取り組んでまいります。

結びに、本年が町民の皆さんにとって、健康で穏やかに、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和7年度の加入状況

(令和7年12月12日現在)

会員の種類	会員数	一口	金額
一般会員 町民の皆さん	9,231世帯	300円	2,769,300円
賛助会員 個人・団体など	81人	1,000円	207,000円
特別会員 法人・事業所など	99事業所	3,000円	467,000円
合 計			3,443,300円

本年度も幸田町社会福祉協議会会員への入会をお願いしましたところ、多くの皆さんからご協力いただきました。ご入会された皆さん、また、会費の取りまとめにご協力くださいました区長さんにも心からお礼申し上げます。皆さまからいただきました会費は、主に福祉への理解を深めていただくための啓発活動や福祉団体およびボランティアの活動支援など、地域福祉活動の推進に使わせていただいております。

● 賛助会員
(順不同・敬称略)
幸田町議会議員
幸田町管理職会
幸田町社協役員
(個人のお名前については、省略させていただきます)
京ヶ峰岡田病院
三河クリニック
日高医院
三ヶ根クリニック
鈴木眼科医院
むらかみ整形外科
牧原整形外科クリニック
西山みみ・はな・のぞクリニック
(医)やまざきクリニック
野々村クリニック
こうた皮フ科クリニック
つむぎホームケアクリニック
いしだ内科ファミリークリニック
いちかわ歯科
やまもと歯科医院
さかきばら歯科
あいみ歯科
植田歯科医院
ハピネス歯科
おとなこども歯科
髙木ひなた

Go! Go! SCタイムズ

協議体の活動紹介 ~「中部」編~



“協議体”とは、地域住民がメンバーとなり、みんなが安心して暮らしていくよう、今、行っていることや自分たちが無理なくできそうなことを話し合う場のことです。

今回は、中部協議体(中央、荻谷学区)で行っている活動を紹介します!



岩堀区ラジオ体操(仮)

協議体のメンバーからの「自分たちの地区でも、誰でも気軽にラジオ体操に参加できるような場所をつくりたい」という一言から始まりました。実施の許可や会場確保のため、区長や公民館長への連絡を行ったり、区の行事でチラシを配布したりするなど、協議体メンバーで実施に向けて準備を進めてきました。

初回は、区長や区長代理も参加され、楽しく体を動かすことができました。

この活動は、どなたでもご参加いただけますので、興味のある人はお気軽にお立ち寄りください。



▲ラジオ体操の様子

とき：3月までの毎月第2火曜日
午前9時30分～10時

ところ：岩堀公民館

情報交換会

協議体のメンバーから、「地域で活動している団体に話を聞く機会を設けてみてはどうか」という提案をいただき、7月の協議体で「情報交換会」を開催しました。中部圏域の老人クラブやいきいきサロンの代表者などを呼びして、各団体による活動状況の報告や困りごとなどを共有する機会となりました。

参加者からは、「他の団体の活動を知ることができてよかったです」「次回はキーワードを絞って話ができるといいね」などの感想をいただきました。

SCとしても、普段関わりの少ない団体同士が交流する機会になったことや参加者の地域愛を確認することができ、良い機会だったと感じています。

今後も地域の情報を共有しながらニーズを把握し、自分たちでできる活動について協議体のメンバーと一緒に考えていきます。

高齢になっても
住みやすい町であって
ほしい!

老人クラブの会員数が減少し
続けている。会員を増やすため
にいい方法はないか?



▲情報交換会の様子

私たちSC(生活支援コーディネーター)は、協議体で挙がった課題の解決やアイデアの実現に向け、情報の提供や関係者とのつながりを作る支援を行っていきます。興味のある人はお気軽にお問い合わせください。

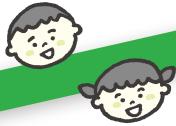


圏域	日 時	場 所
北部協議体(坂崎・幸田学区)	第3火曜日 午前10時～	坂崎公民館
中部協議体(中央・荻谷学区)	第2火曜日 午前10時～	岩堀公民館
南部協議体(深溝・豊坂学区)	第2火曜日 午後 2時～	市場公民館

*日時、場所は変更になる場合があります。



問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171



地域の居場所活動紹介

すぐ道まんが図書館

今回紹介するのは、今年9月に開設した「すぐ道まんが図書館」です。居場所開設のきっかけは「自分が気に入っている漫画をみんなに読んでもらいたい!」、「漫画を通じた交流を図りたい!」との思いから、カフェの閉店後を活用し、「すぐ道まんが図書館」の開設に至りました。

カフェ内には約2,500冊の少年・少女漫画が揃い、ボランティアスタッフが見守る中、落ち着いた空間でゆったりと過ごすことができます。子どもから大人まで利用が可能で、親子で訪れる人もみえるそうです。

とき：毎月第1・3土曜日
午後3時～6時
ところ：すぐみちカフェ
入館料：誰でも100円

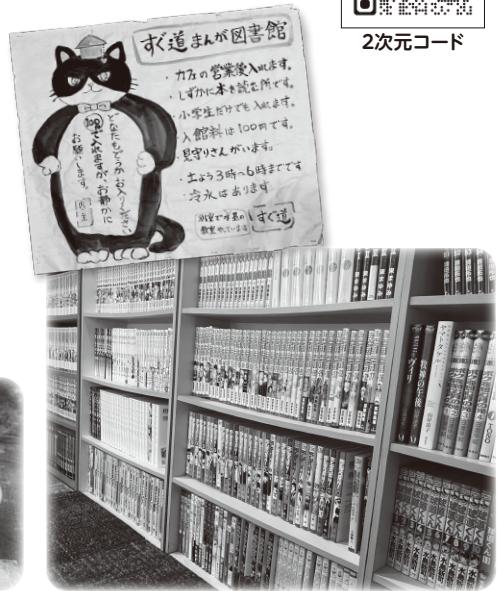
手作りお菓子もあるよ



町内で実施している
地域の居場所一覧はこちら⇒



2次元コード



地域の居場所とは、地域の人や仲間との関わりを持ちながら安心して過ごすことのできる場のことです。町内には子どもの居場所(子ども食堂含む)、高齢者の居場所(サロン含む)が多くあり、おしゃべりやゲーム、体操などの活動を通じて、交流が深められています。

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

令和8年度 あいちシルバーカレッジ 募集案内

愛知県では、シニア世代の生きがいと健康づくりを応援するため、「あいちシルバーカレッジ」を開講します。



とき 4月～令和9年3月(全30日程度) 午前10時～午後4時

ところ 岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)(岡崎市康生通西4-71)

対象 県内在住の満60歳以上(昭和41年4月1日以前生まれ)の人
*過去に在籍した人を除きます。

定員 文化教養学科 100人(抽選) **受講料** 年額23,300円

申込み 2月10日(火)までに、専用の申込書を愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンターへ郵送してください(締切日必着)。なお、専用申込書は、募集パンフレットとともに幸田町福祉課および幸田町社会福祉協議会で配布しています。

問合せ 愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター 電話 (052)212-5521

ホームページはこちら⇒



中部地域包括支援センターだより

介護者家族交流会を開催します

とき 3月20日(金) 午後1時30分～3時30分

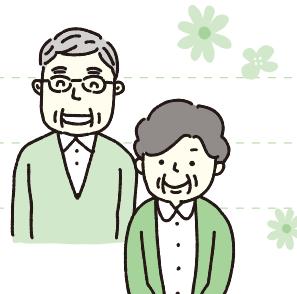
ところ ハミングバードカフェ(幸田町役場内)

内容 福祉用具の選び方と住宅改修について

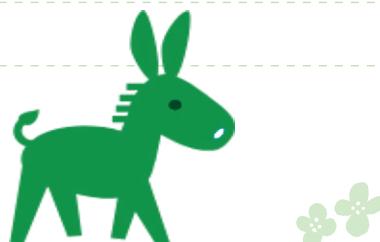
対象 町内在住・在勤で現在介護をされているご家族
および介護をされたことのあるご家族

参加費 無料 *飲食代は実費負担

申込み 1週間前までに中部地域包括支援センター
(電話 62-7331)へお申し込みください。



*当日は祝日ですが、開催いたします。
*自主グループ「ロバの会」のメンバーは、毎月集まり交流しています。



おれんじカフェを開催します

認知症の症状がある人が安心して参加できる場所です。

福祉などの専門職に介護の悩みを相談することができます。

お茶を飲みながら、一緒に話しませんか。

とき 毎月第4金曜日 午後2時～3時

1月23日	通所介護について
2月27日	脳トレ
3月27日	フレイル予防について

ところ ハミングバードカフェ (幸田町役場内)

内容 お茶を飲みながら、認知症に関心のある仲間と、日ごろの不安や体験談、失敗談など気軽に話をする交流の場です。

対象 認知症の人、そのご家族、地域の人など、町内在住
または在勤であればどなたでも参加できます。

参加費 無料 *飲食代は実費負担

申込み 事前申し込みは不要です。また、入退場は自由です。



高齢者の日常生活や介護に関する悩みや困りごとなどがありましたら、
お気軽にお問い合わせください。

問合せ 幸田町中部地域包括支援センター 電話 62-7331

令和7年度幸田町社会福祉大会顕彰者等の紹介

11月14日(金)、幸田町民会館において町と社協の主催により「令和7年度幸田町社会福祉大会」を開催いたしました。

この大会では、社会福祉関係者が一堂に集まり、社会福祉に貢献された人たちへの顕彰や、長寿などのお祝いをするとともに、福祉のまちづくりに向けての大会宣言を行いました。

顕彰

(順不同・敬称略)

幸田町社会貢献活動感謝状

◇社会貢献活動功労者

加藤光雄
宇都野昭男
千賀健司
幸田親善人形友の会

幸田町社会福祉協議会会长表彰状

◇福祉団体功労者

幸田町身体障害者福祉協会 加藤雅敏
幸田町遺族会 永井まさゑ



幸田町社会福祉協議会会长感謝状

◇福祉団体功労者

幸田町老人クラブ連合会 岩瀬秋雄
幸田町老人クラブ連合会 米津章
幸田町老人クラブ連合会 永井やす子
幸田町老人クラブ連合会 梅田シズエ
幸田町母子寡婦福祉会 長谷美代子

◇社会福祉事業多年勤続者

保護司 山本忠志

◇社会福祉事業協力者

ピアゴ幸田店
株式会社タケヒロ産業
幸田町グラウンド・ゴルフ協会
株式会社石原組 従業員一同

◇社会福祉協力校

幸田町立中央小学校
幸田町立北部中学校

祝品贈呈

長寿祝

白寿（99歳）…………… 18人
米寿（88歳）…………… 182人

結婚祝

ダイヤモンド婚（結婚60周年）……… 12組
金婚（結婚50周年）…………… 45組

第73回 愛知県社会福祉大会

愛知県共同募金会会長表彰者の紹介

9月2日(火)、IG Arenaにおいて「第73回愛知県社会福祉大会」が開催されました。

その中で、幸田町身体障害者福祉協会、幸田町聴覚障害者連絡協議会が「愛知県共同募金会会長表彰状」を受賞されました。

両団体は、10年以上にわたり幸田町共同募金会の募金活動にご協力をいただきており、その長年の功績がたたえられました。

受賞された団体の皆さん、誠におめでとうございます。



▲幸田町身体障害者福祉協会



▲幸田町聴覚障害者連絡協議会

赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール 入賞者紹介

第77回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールに町内の小中学校から、書道の部に1,619点、書道の部に867点の応募がありました。その中から、26点の作品が優秀作品に選ばれました。(敬称略)

愛知県共同募金会金賞



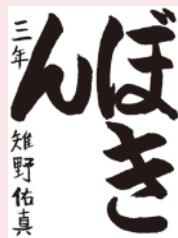
幸田中2年 鳥居 和華

愛知県共同募金会銀賞



荻谷小6年 鳥居 希咲

幸田町共同募金委員会会長賞



中央小3年 雉野 佑真



豊坂小1年 岩川 英実

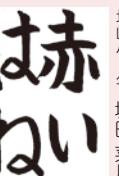
愛知県共同募金会佳作



深溝小3年 森 瑛音



中央小5年 石原 巧隆



坂崎小3年 堀田 菜月



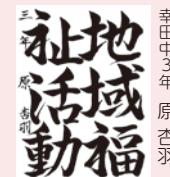
幸田小6年 鈴木 佑望



坂崎小6年 小山 陽平



幸田中1年 杉浦 唯花



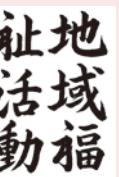
幸田中3年 原 杏羽



豊坂小6年 島 勝士朗



北部中2年 大須賀 ゆう



南部中3年 原田 賴杜



深溝小3年 春日井 星菜



中央小3年 小林 莉乃



荻谷小4年 牧原 佑亞



中央小1年 吉見 淳翔



坂崎小3年 安藤 日向



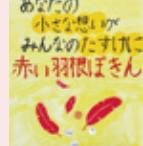
荻谷小5年 山本 蒼葉



荻谷小6年 羽田野 萩瑚



南部中2年 市川 紗羅



幸田小3年 山崎 俊幸



南部中3年 小田 千遙



北部中3年 井澤 穂

ご寄付紹介(順不同・敬称略)

R7.9.12～R7.12.12

- 現金 幸田町グラウンド・ゴルフ協会 125,778円 故 山本信吉 ご遺族 10,000円
Mirai Escort(株)代表取締役 中條義之 26,800円 あいち三河農業協同組合葬祭部 10,000円
アトリエジャスト 近藤二吉 10,000円 (株)石原組従業員一同 6,000円
合同会社Fitnessこうた社員一同 4,500円

- 物品 岡崎額田防犯団体連絡協議会 防犯かるた

ありがとうございました

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4

電話(0564)62-7171 FAX(0564)62-7254

居宅介護支援事務所 電話(0564)64-1069

訪問介護事業所 電話(0564)83-7273

相談支援事業所 電話(0564)64-2115

中部地域包括支援センター 電話(0564)62-7331

メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報紙は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。